

< 報道発表資料 >

令和 8 年 6 月 2 4 日

京都市南区役所地域力推進室まちづくり担当

南区人権映画観賞会の開催

南区人権文化推進会議では、「すべての人の人権が尊重されるまちづくり」を推進するため、様々な人権啓発活動に取り組んでいます。

この度、8月の人権強調月間に合わせて、区民等の方々に広く人権問題について考え、見識を深めていただくため、「南区人権映画観賞会」を開催します。



【概要】

- 日 時 令和 8 年 8 月 7 日 (金) 午前 1 0 時～午後 0 時 3 0 分 (午前 9 時開場)
- 場 所 京都市立開建高校ホール
(〒601-8467京都市南区唐橋大宮尻町22)
- 内 容 (1)「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会 ※バリアフリー字幕有
(2)原作者による上映後特別トークショー
※手話通訳及び AI によるリアルタイム字幕有
- 定 員 200名 (応募多数の場合抽選)
- 参加費 無料
- 持ち物 下足袋、上履き又はスリッパ



京都市

CITY OF KYOTO

「京都いつでもコール」

二次元コード



- 申込方法 次のいずれかの方法でお申込みください。

➤「京都いつでもコール」HPの申込みフォームから。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

➤「京都いつでもコール」に電話またはFAXで申込み。

電話：075-661-3755（年中無休、午前8時から午後9時まで受付）

FAX：075-661-5855

※おかけ間違いに御注意ください。

①氏名（ふりがな）、②郵便番号・住所、③電話番号、

④同伴者全員（2名まで）の氏名（ふりがな）をお伝えください。

※申込多数の場合は、抽選になります。

※申込者1名に対し、同伴者2名まで申込み可能です。

※当落については、7月下旬にメール（HP申込みの方）か、はがきで連絡します。

- 申込期間 令和8年6月26日（金）～令和8年7月24日（金）

- 運営 主催：南区人権文化推進会議

共催：南区役所、南区地域啓発推進協議会



<「ぼくが生きてる、ふたつの世界」について>

【出演】吉沢亮、忍足亜希子、今井彰人、ユースケ・サンタマリア他【監督】呉美穂

【あらすじ】耳のきこえない両親のもとで育った五十嵐大にとって、母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし成長するにつれて、周囲から特別視されることに戸惑いやいら立ちを感じるようになっていく。複雑な心情を持って余したまま20歳になった大は、大都会でアルバイト生活を始めるが…。

<上映後特別トークショーについて>

【講師】五十嵐大（原作者）

1983年、宮城県塩竈市生まれ。耳のきこえない両親を持つ、コードとして生まれ育つ。2020年『しくじり家族』でエッセイストとして、2022年『エフィラは泳ぎ出せない』で小説家としてデビュー。

『ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと』（その後、『ぼくが生きてる、ふたつの世界』と改題し文庫化）を原作とした実写映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」が2024年9月に公開された。また、『「コード」のぼくが見る世界』では、第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書（高等学校の部）に選定される。他の著書に『聴こえない母に訊きにいく』『拝み屋のおばあちゃんと僕』『その手は明日を紡ぐために』など。



写真：島津美紗

<開建高校へのアクセス>

JR 西大路駅徒歩 5 分

市バス「九条御前通」下車徒歩 3 分



<バリアフリー対応について>

以下の①、②の項目について希望される方は、TEL、FAX、又はEメールで、以下申込先へ、7月24日（金）までに事前にお申込みください。また、その他の対応が必要な場合については、個別に御相談ください。

【バリアフリー対応項目】

- ①ヒアリンググループ席
- ②車イス席

【申込先】

南区役所地域力推進室まちづくり担当

(TEL 075-681-3417、FAX 075-671-9653、Eメール minami-machi@city.kyoto.lg.jp)

<障害のあれこれに関するパネル展示も同時開催>

障害者差別解消法や障害に関するマーク、私たちにできること等、障害のあれこれに関するパネル展示を、同会場にて実施します。

<お問合せ先>

京都市南区役所地域力推進室まちづくり担当

電話：075-681-3417